

第1回 古沢小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和6年2月1日（木）

開催時間：19時00分～20時25分

開催場所：古沢地区センター

出席者：長谷川会長、前田副会長、五十里委員、高林（聡）委員、市川委員、
高林（正）委員、荒木（祐）委員、窪田委員、森（博）委員、松井委員

事務局：教育委員会事務局理事 古西 達也
学校再編推進課長 山口 雅之
学校再編推進主幹 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主査 村石 篤彦

《開会》

【司会】 第1回古沢小学校のあり方協議会を開催する。
本日、都合により4名が欠席している。
(出席者及び事務局紹介)
(古西 教育委員会事務局理事 挨拶)

《事務局説明》

【司会】 協議会の流れと議論の進め方について、事務局より説明する。
【学校再編推進課長】 (協議会の流れ・議論の進め方について説明)

《議事進行》

【司会】 議事に入る前に、協議会会長が決まるまでの間、古沢小学校自治振興会長に議長をお願いしたい。
【会長】 しばらくの間、仮議長を務める。議事に入る。

《議題進行：第1号議案～第3号議案》

【会長】 第1号議案「古沢小学校のあり方協議会会則（案）」、第2号議案「役員
の選出」、第3号議案「予算（案）」について、一括して議題としたい。
事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 （第1号議案～第3号議案について説明）

【会長】 今の説明について、質問等はあるか。

【委員】 会則で決議は総意をもってとあるが、誰かが反対であれば決まらないと
いうことか。

【学校再編推進課長】 この総意というのは、全員賛成かどうかという意味ではなく、会として
最終的に決めていただきたいというものである。

【委員】 協議会は1か月に1回程度する形か。

【学校再編推進課長】 何回行うかは決まっているものではない。

この後、どういったことを協議していくかということも委員の皆様から
意見をいただき、いつ頃開催するかについても相談をしながらになると
考えている。

【委員】 自治振興会役員は1月から役員交代、PTAなどは4月から交代となる。
3月まではこのメンバーでしていくということか。

【会長】 団体によって年と年度で分かれているが、基本的には充て職と考えてい
るので、現時点ではこのメンバーで3月までは行いたいと思っている。
4月以降は役員の変更に合わせて委員も交代するものと考えている。

【委員】 人ではなく、この役職がやるということによいか。

【学校再編推進課長】 会長からの話のとおり、人ではなく、委員の方々は各団体の代表として
来ていただいているため、団体内の役職が交代した場合は、次の方に参加
いただきたいと考えている。

【事務局理事】 ただ、団体の中でやはり同じ人が良いという決定をされた場合は、役職
が変わったとしても、その方が団体としての代表として参加いただく形
でも良いと思っている。

【委員】 団体の代表として出席するということか。

【事務局理事】 役職としての充て職が基本ではあるが、各団体の中でこの方に出てほし
いという話であれば、それがかまわない。各団体において判断いただきたい。

【会長】 学校統合の話はすぐ来年に決まるという話でもない。
（団体として）立場は違うと思うが、皆さんにもご協力をお願いしたい。

【会長】 他に質問はあるか。

（質問なし）

【会長】 第1号議案から第3号議案について、原案のとおり可決することに異議はあるか。

（異議なし）

【会長】 異議なしと認める。

よって、第1号議案から第3号議案については、原案のとおり可決する。
本協議会の会長にご指名いただいたので、一言ご挨拶申し上げます。

（会長 挨拶）

《意見交換：古沢小学校の状況等について》

【会長】 本日の議題は以上となる。

今後、協議を進めていくにあたり、古沢小学校の現状について共通の理解を図りたい。

事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 （古沢小学校の状況等について説明）

【会長】 今の説明について、質問等はあるか。

【委員】 古沢小と池多小を最初に統合し、その後老田小と統合。

そこから10年くらいかけて呉羽小と統合するというやり方は可能か。

【学校再編推進課長】 段階的に統合するのは富山市の過去の事例でもある。

例えば、ちょうど令和8年4月に統合する水橋学園でいえば、一次統合という形で、複式学級のあった三郷小学校と上条小学校が統合している。ただし、デメリットもあり、統合には準備期間や相応する労力がかかるとともに、子どもたちにとっても慣れるまでの期間を何度も経験することとなる。

よって、1回で統合するか段階を踏んで統合するかというのは、デメリットも含めて考えていくことが必要である。

【委員】 呉羽と最終的に統合するとして、10年以上はかかる。

その間、古沢と池多はどうなるのか。そのままやっていくということか。

- 【事務局理事】 先ほどの水橋の例をお伝えしたとおり、一次統合をして複式学級を解消してから、次の統合について考えていくケースもある。
- 【委員】 そうでもしないと古沢と池多はずっと複式になってしまう。
教育委員会としては、学校規模として小学生300名くらいが一番いいと考えているのか。
- 【学校再編推進課長】 市教育委員会としては1学年に2～3クラスが適正規模と考えている。
人数よりもクラス数で考えており、今は1学級35人までが基準となっているため、3クラスとなれば、人数は大きくなるがそれが適正規模だと考えている。
- 【委員】 人数が少ないことによるメリットも考えている。市内のテストでいい成績をとっているという話も聞いたりするので、悪いことばかりではないと思っている。
ただ、複式学級はやはり解消したほうがいいという思いもある。
できるだけ早いタイミングで10年待つのではなく、2・3年で統合を実現できる方法があるのなら、その方がよいと感じている。
- 【委員】 少人数だと目が行き届くという良い点はあるが、運動会などでは見ていて寂しいと感じることもある。
学童保育は17時30分までしているが、共働きの方々から18時まで希望されているが、今の規模だと指導員も少なく、難しいと感じている。
- 【委員】 地域の意見としては、高齢者だけの世帯と将来的に子どもが生まれてくる世帯だと考え方も違ってくると思う。子どもがいる世帯はこの場所に住んでいていいのかという話も出るかもしれない。
学校（子ども）に関する面と地域のコミュニティの面と2つの方向性の考え方があるので、意見がまとまるか、地域の行事がどうなっていくか想像がつかず、不安な気持ちがある。
地域に対しては、現状の周知から始まると思うので、協議会が開始されたことを案内して、協議会の進みに合わせて具体的なことも定期的に地域内に周知していければいいと思う。

【会長】 各委員には地域の各団体の代表として来てもらっているため、各団体でも現状についてお伝えいただきたいと思う。

小学校がなくなると地域が衰退するという危惧が多いことと思うが、私個人としては、子どもたちがこれから大きな世界（社会）に出ていくときにより5・6人の友達と接するより、30人～40人の友達と接していくことが必要であると感じている。

私たちの時代ではまだそれだけの子どもがいたので、そう思う部分もあるかもしれないが、現状に不安は覚えている。

【委員】 私も中学生と小学生の子どもがおり、議論に直接関わってくる。

私自身もクラスに18人という少ない人数で育ち、呉羽中学校に行くとき急に大人数の中に少人数が入っていくという状態であり、楽しみ半分、不安半分であった。

ただ、中学校区全体的に見ても人数が下がっているので、比率としては一緒だと思っている。

その中で、このままでいいという部分もあったが、自分の子どもだけでなく古沢全体を考えていくと今はまだ答えは出せない。これは問題意識がなかったからというのが率直な意見である。

自分の子どものことだけを考えて関係ないという話になるので、そういう観点ではなく、地域として何かしなければいけないという意識をもたないと協議会は成立しないし、まずいなと思っている。

【委員】 今まで統合しているところで、子どもはもちろんだが、親の負担も増えるのではないか。親が毎月いくら負担しなければいけないという話も出るのではないか。

例えば古沢と池多の統合、老田も含めて統合となったときにバスの話も出てくると思うが、その辺りはどうなるのか。

【学校再編推進課長】 現状、統合が決まっているわけではないため、正式には言えない。

ただ、通学は基本的にスクールバスが考えられるため、親はそのバスの時間に合わせて送り出したり、バスが来るまで待つなどの負担は発生するかもしれないが、費用面では基本的に公費で負担をするという形になる。一部路線バスや電車で通っている地区も通学補助という形をとっている。

P T A活動や会費についても人数が増えることによって毎年やらなくてもよくなる、場合によっては会費が下がるということも規模が大きくなるにしたがってあり得ると考えている。

【委員】 古沢小、池多小、老田小の3校の統合が想定されるが、寒江小も入れないのか。3校よりも4校の方が長い期間人数が持つのではないのか。

あと、統合された学校は例えばこの間の地震のように災害があったときに、管理は誰が行うのか。古沢小は校長・教頭先生と地区センター所長が開けてくれたが、統合された学校は避難場所なのに開いてなかったという話も聞いた。そういった対策はしっかりなされるのか。

【学校再編推進課長】 寒江小も入って4校の組み合わせはあると思うが、寒江小は現在70名ほど児童数がいるため、人数が増えることによるメリットは当然あるが、すぐに入れる学校がないため、増築や増改築、場合によっては新築する必要性が生じる。

費用と時間がかかるというところが3校か4校かの大きな違いであるが可能性としてはあるものと考えている。

また、避難所については、統合した学校の体育館は避難所として残しており、今後も体育館は残す方向性としている。確かに学校の先生はなくなるが、地区センターは残るとともに、避難所開設の担当職員も割り振られているため、お聞きになったところが遅かったのはあるかもしれないが、学校の有無が必ずしも鍵開けの早い遅いには影響しないものと考えている。

【委員】 統合した後に元に戻ることはできないため、失敗はしたくないという思いがある。

以前、保育所と小学校の保護者を対象に意見交換をした際に、お試して統合してはどうかという案を出したが、それについてはどう考えるか。

【学校再編推進課長】 暫定的に1年間統合するという事は難しい。

ただ、先日の意見交換会でいただいた意見を踏まえ、学校間での交流授業を始めていければという話をさせていただいていたと思う。

そちらは市教育委員会内部で相談をして、来年度から交流授業を始めていく方向で準備を進めているところである。

【会長】 今、委員が言った元に戻ることはないということは未知数だと思う。
古沢小学校自身も発足は押川小学校であり、変遷がありながら今の古沢小学校になっている。
今後、どうなるかはわからない。時代が変われば古沢校下がいい場所だという話になり、市街化調整区域が外れて住宅が増えるかもしれないが、現在の状態でこれからのことを考えると統合に向けた話をしていった方がよいという考えである。
他に意見・質問はあるか。

(異議なし)

《意見交換：他協議会における活動等について》

【会長】 次に、本協議会において、今後どのように活動していくのがよいかを検討するため、檜尾小学校など、他の協議会の事例について事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 (他協議会における活動等について説明)

【会長】 不安な気持ちや分からないことはたくさんあると思う。市教育委員会からの今までの事例を聞く限り、その地域ごとに考えながら進めてきているように思う。

今後は、賛成・反対だけではなく、「子どもを中心に考える」、「このままずっと残すべき」など色々意見はあると思うが、どうやってこの地域を良くしていくかを議論しながら進めていく必要があると思っている。

各団体においても協議会での意見や質問について持ち帰ってもらい、考えていただきたい。

今後の協議会の進め方は事務局とも相談しながら案を考えていきたいと思っている。

他、質問はあるか。

【委員】 古沢地区と同じように池多や老田でも協議会をしているのか。
これから始めていくということか。

【学校再編推進課長】 呉羽地区の中では再編対象校は5校あり、複式学級は古沢小と池多小である。

市教育委員会としては、複式学級を解消することを最優先と考えており、池多小校区についても、協議会の立ち上げに向けて動いているところである。

【委員】 お互いにこんな状況だということを知らないということがないように同じように進んでいったらいいと思っている。

【学校再編推進課長】 統合は、例えば古沢小校区だけで統合を決めても相手方とも合意しないと統合は成り立たないため、隣接している校区は同じように進めていかなければ統合はできないと思っている。

池多小校区も同じような動きをする予定であり、他の隣接する校区にも情報提供しながら進めてまいりたい。

【委員】 小学校の統合に合わせるように、保育所もなくなっていくのか。

【学校再編推進課長】 必ずしも小学校がなくなったからといって、保育所がなくなるわけではないとともに、保育所がなくなったからといって、小学校がなくなるわけではない。

保育所と小学校は違う観点で管理しているため、リンクしてなくなるわけではないと思っている。

【委員】 古沢や池多の皆さんは統合には納得というか、仕方がないという思いであると思っている。ただ、3校であれば老田はどうか。老田が納得してくれないことにはどうにもならない話だと思っている。

老田にしる呉羽にしる、大きいところが統合を認めるかどうかだと思うので、市教育委員会には相手方にも話をしていってほしい。

【会長】 他に質問もないようなので、本日はこれで終了としたい。

事務局から連絡事項はあるか。

《閉会》

【司会】 第2回古沢小学校のあり方協議会は、本日皆様からいただいたご意見等を踏まえ、日程や内容をちょう製紙、改めて案内する。

以上をもって、第1回古沢小学校のあり方協議会を終了する。

— 了 —